



さくらっこ!



戸塚区青少年指導員協議会は 戸塚区青指



あいちゃん
横浜市青指の
シンボルマーク

目次

P. 1…子育てワンポイント! / P. 2～3…青少年防災対応力強化研修 / P. 4…イベント紹介・29年度 終了した行事
・29年度 今後の行事予定

子育て ワンポイント!

『子どもから信頼されていますか?』

子どもには、「もし自分がいじめや嫌がらせを受けていたら伝えて欲しい」、「もし誰かがいじめを受けているのを知っていたら教えて欲しい」、と思いませんか。そのためには、子どもたちが親や周りの大人たちに信頼感を持っていることが必要です。いじめや嫌がらせは、残念ながらなくすることは難しいかも知れませんが、長期間にわたる継続的、致命的ないじめは、親や大人たちへの信頼感があれば食い止めることができるはずです。

子どもたちは黙っていても親や大人たちの言動を観察しています。信頼関係を構築するには、常日頃からの子どもたちとの関わり方にポイントがあります。

関わり方のポイント ①

「親の論理を伝える」

親は子どもの将来を思い、いろいろな経験を通じて生きていくための知恵を授けようと努力します。こうして欲しい、こうあるべきだという親の気持ちや考え方を、頭ごなしに伝えるのではなく、その理由もきちんと話しましょう。子どもは話の内容からだけでなく、自分の意思を持ち、それを伝える意思表示の大切さも親から学びます。

関わり方のポイント ②

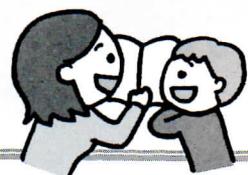
「子どもの論理を聴く」

親と子どもは多くの場合 20 歳以上の年の差があります。物事の移り変わりが激しい現代、親と子どもの育ってきた環境は大きく異なります。親にとっては当たり前でも、子どもにとっては理解できない事柄も多々あるでしょう。「親の論理」を伝えるだけでなく、それに対する子どもの気持ちや反論をしっかりと聴きましょう。子どもは聴いてもらえることが、気持ちを和らげストレス発散に繋がることを学びます。

関わり方のポイント ③

「一緒に考える」

お互いの気持ちや考え方に相違があれば「どうすれば良いか」を一緒に考えましょう。親にとっては思いもよらぬ子どもの気持ちや考え方を知り、相互理解に繋がるとともに、新しい発想が生まれることもよくあります。子どもは一人で悩むのではなく、他者と協力して物事を解決する姿勢を学びます。



先に子どもから親に気持ちを伝えてきた場合には、②→①→③となります。もちろん、これらのプロセスを踏んだとしても、いやいや親に従うケース、反抗するケースも出てくるでしょう。子どもはある程度ストレスを感じるでしょうが、自分の気持ちを聴いてもらえたことでストレスを必要以上に増大させることなく、ストレス耐性を形成することに繋がります。

大人の世界では、「長いものには巻かれろ」、「触らぬ神に祟りなし」といった姿勢を生きる知恵として得る場合もあります。しかし、それは育ってきた環境の中での対話等を通して、人を信じることや愛する気持ち、ストレスをうまく処理する耐性を身に付けたからこそ飲み込める不合理や不条理です。子どもに伝えるべきものではありません。今でも勧善懲悪もののドラマやアニメが子どもたちに人気なのは、本能としてそれが心地良いことを知っているからです。親や大人が「こうあるべき」という理想像や「不正を許さない」という正義感を日頃の関わりを通じて伝え、一緒に考えましょう。そのためには、親や大人が理想像や正義感を見失わずにしっかりと持っている必要がありますね。